

平成28年(2016年)1月1日発行

新学長に成田健一教授が就任

建築学科所属、専門は都市環境工学 59歳

学校法人日本工業大学は、波多野純学長の任期満了に伴い、11月19日(木)の理事会において、成田健一教授・教務部長の学長就任を決定。成田教授は12月20日(日)に学長に就任した。任期は平成31年12月19日(木)までの4年間。成田新学長の所属は建築学科、専門分

野は都市環境工学。日本建築学会、日本ヒートアイランド学会、環境省、東京都などの環境関連委員を多数歴任し、長年にわたり建築分野における教育・研究に貢献。本学においても教育研究推進室長、教務部長の要職を務め、教育改革に向けて意欲的に取り組んできた。

成田健一(なりた けんいち)略歴
昭和31年8月 東京都生まれ 59歳
昭和54年3月 広島大学総合科学部卒業
昭和61年6月 広島大学大学院工学研究科博士課程後期環境工学専攻単位取得満期退学
昭和61年7月 広島大学工学部助手
昭和62年7月 工学博士(広島大学)
平成2年11月 広島大学工学部助教
平成9年4月 日本工業大学工学部助教
平成12年4月 日本工業大学工学部教授
平成22年4月 日本工業大学教育研究推進室長
平成23年12月 日本工業大学教務部長

危機感の共有とボトムアップ体制の構築

12月20日(日)より、四年間の任期で学長という大役を務めることになりました。大学設立五十周年を迎えるこの重要な時期に、大学の取組み役という重責を担うことになり身の引き締まる思いです。

さて、将来の展望がなかなか描けない時代と言われていますが、「現場レベルで創意工夫ができる技術者をどれだけ育てられるか」が日本の将来を左右すると私は信じています。50年近く前と現在では大きく社会状況が様変わりしましたが、本学の「建学の精神」は再評価される価値が十分にあると思います。しかしながらその一方で、今後の18歳人口の減少を踏まえ、と

模大学群という陸地が広がっている、と錯覚されているように感じます。しかし、現実には決してそうではありません。すでに本学の立つ丘陵

強力に展開しなければなりません。さらに波に浸食されてしまった足元の砂浜を取り戻すためには、離岸堤の構築が必要で、その機能を果たす



学長 成田 健一

は、足を直接、激しい波で洗われています。それに加え、近年は意味のあることだけを効率よく学びたがる「学生気質の変化」という地震にも揺さぶられ、本学が建つ足元の地盤の弱体化も急速に進んでいます。

幸いなことに、本学には現理事長が学長当時に創られた「実工学の学び」という太い杭が打設されており、大きな支えとなっています。しかしながら、もうそれに甘えていられない状況ではありません。速やかに「教育の質的転換」という面的な地盤改良を施し、また、これまでもコツコツと築いてきた「入試広報」という防波堤の建設をもっと

のは、「学科再編」というチャレンジだと思っています。昨年、学校教育法等が改正され、文部科学省は全国の大学に対し、学長がリーダーシップを発揮できる仕組みの導入を求めました。昨年受審した日本高等教育評価機構の審査においても、このことがチェック項目として盛り込まれたこともあり、本学においても規程の改定を行いました。教授会の位置づけは最高議決機関ではなく、学長が決定を行うに際して意見を述べ

2018年問題という言葉で、大学が経営難の時代に突入することは以前から叫ばれていました。ただ、本学は最近七年間、連続して定員の1.1倍を超える入学者が確保できました。そのため、18歳人口の減少という荒波は、本学が建つ小高い丘からはまだまだ遠い海岸線に打ち寄せ

ている、と錯覚されているように感じます。しかし、現実には決してそうではありません。すでに本学の立つ丘陵

私は、学長に求められるリーダーシップとは、自分の意見を通すことではなく、反対意見を耳を傾けることであると思っています。学長の権限が強化されたからといって、教職員の皆さんとボトムアップ体制を構築することが必要なのです。例えば、運営協議会も執行会議の議論を上意下達的に伝えるのではなく、各学科の教室会議での意見や議論を報告して頂くことを中心に運営するなど、できることから変えていきたいと思っています。是非とも多くの方々に「諫議大夫」役をお願いしたいと思っています。

私は、理事長・前学長に比べると、本学に着任してまだ19年にも満たない若輩者です。しかも工学部出身ではなく、「ものつくり」に直結する研究をしてきたわけでもありません。このことは就任に際して吐露しておきます。これらの点で懸念を抱く方もおられると思いますが、それも踏まえて推挙頂いたと解し、これまでの歴史を尊重しつつも過去に囚われない改革を進めていきたいと思っています。どうかよろしくお願い致します。

年頭の辞

技術を通して時代に提案を



理事長 柳澤 章

明けましておめでとうございます。新しい年を迎え、みなさんはどのようなことに着目し、取り組んでみたいと考えているでしょうか。工学関連で世の中の話題となったものを振り返ってみると、昨年は、町工場がロケットづくりに情熱を傾けるテレビドラマが人気を呼びました。また、国産初のジェット旅客機が初飛行して話題となりました。より身近なところでは、自動車の自動運転に各社が競って参入し、さらにミラレックスの車を国が認めました。高齢化に伴う事故の増加が報道されるなか、社会が抱える課題に、これからの技術がどこまで適切な解決を図ることができるのでしょうか。かつて、新技術の登場は、そのこと自体で価値が認められた面があったかもしれませんが、今日では、それによって社会にもたらされること、環境に与える影響などを十分に考慮すべき時代になっていきます。視野を地球規模に広げると、海面上昇によって島国ツバルは存亡の危機にあり、気候変動問題は待たないです。技術は何ができ、また、何をすべきではないのか。

学生諸君にとって、2016年は18歳選挙権が適用されます。これも、今年、大いに注目されていることです。1年生から選挙権を行使することが出来ます。自分たちの社会を、工学を学ぶ者としての目で見つめ、ありたい社会づくりに参画する年。そういう年かも知れません。さて、来る2017年は、本学の開学50周年という大きな節目を迎えます。本学園は創立110周年となります。その歩みは、日本の産業を担い、メイドインジャパンを世界ブランドに高めるべく、優れた品質を産み出す人材を育成する、そうした時代の要請にこたえてきました。さらに近年では、例えば、環境に対する全学的な取り組みがさうであるように、技術を通して時代に提案をしかけていくことが進められています。学園としては、学生がより多角的な視野で工学を学べるように、さらなる環境整備に努力すると共に、50周年事業としても取り組みを進めています。学生のみなさんにおいても、今年1年が豊かな学びの年となることを願っています。

日本工業大学 工学部 平成28年度入試日程

Table with columns for exam type (特別奨学生入試, 一般入試, センター利用入試), dates, and details. Includes notes about internet application and exam fees.

※1 インターネット出願は、12/19(土)より受付開始! ※2 窓口は、1/23(土)・25(月)も受付。 ※3 窓口は2/13(土)も受付。 ●各入試の詳細はそれぞれの「募集要項」でご確認ください。

【入試チェックポイント】 ①一年次の授業料全額(98万円)または、半額(49万円)を免除! 入学手続き締切日は3/10(木)まで。【特別奨学生入試 第2期 他大学との併願可】 ②入試奨学金20万円給付! 充実の奨学金制度。昨年実績270名! 【一般入試とセンター利用入試の成績優秀者】 ③インターネット出願割・併願割あり! 【特別奨学生入試 第2期・一般入試・センター利用入試】 ④全国14ヶ所試験会場 【一般入試】 ⑤2月・3月に受験できます 【一般入試・センター利用入試・AO入試】

募集要項(願書)のご請求およびお問い合わせ先 TEL.0120-250-267(入試室) URL http://www.nit.ac.jp/ E-mail:nyu-shi@nit.ac.jp

本学で先端技術研究の取り組みを

Table listing recruitment for social science graduate students and exam dates for the 28th academic year. Includes contact information for the graduate school.

日本工業大学 専門職大学院(大学院技術経営研究科技術経営専攻)

中小企業技術経営コース/プロジェクトマネジメントコース/起業・第二創業コース

働きながら学べる専門職大学院 第12期生 募集!

Table showing recruitment dates and exam dates for the 12th cohort of the professional master's program.

願書のご請求およびお問い合わせ先: 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-5 日本工業大学 専門職大学院 TEL: 03-3511-7591 FAX: 03-3511-7594

学生自治会中央執行委員会 委員長就任挨拶

皆さんとつくる、より良い学生生活の為に

創造システム工学科三年 山本 郁弥 (栃木県立那須清峰高等学校出身)



新年あけましておめでとうございます。新しい年を迎え、それぞれの目標をもって邁進していること存じます。

この度、第四八代学生自治会中央執行委員会委員長に就任致しました、山本郁弥と申します。

私がこの日本工業大学の門を潜ってから三年の月日が経ちました。この三年間は充実感に満ちた日々でした。その中で中央執行委員会に出会い、様々な経験を、人として大きく成長することができました。

最後に、日本工業大学と学生自治会の益々の発展を祈り、中央執行委員会委員長就任挨拶と代えさせていただきます。

新産業革命時代の人財投資

専門職大学院だより

大学院技術経営研究科教授 三宅将之

新たな「産業革命」に直面しており、人工知能やロボットに係る技術進歩に伴う雇用への影響を懸念する議論が欧米を中心に高まっている。

英国では今後20年間で35%の仕事がロボットに代替することが予想され(デロイト英国法人)、同様に米国での職業702種のうち約半数が失われる可能性があるが、総雇用者の47%が失業する可能性がある(オックス

本(カネ)によって事業が成り立ち、収益計上しているという実感はない。やはり、経営者や従業員は、企業理念や事業計画を自身のものとして共有することが必要である。企業には、従業員から支持され、社会への貢献が実感できる経営ビジョンの共有と挑戦が求められる。その共有するビジョンに向けて、経営者と従業員が共に考え、汗をかいて働き、競合他社が提供できない価値を創造し顧客に提供することが基本となる。

と、フィンランド、ノルウェイ、スイス、カナダに次いで、日本は第5位の高位にランクされている。これは、25〜54歳の高度教育参加率51%等から教育普及度の観点では1位であること、65歳以上の健康寿命は2位であること等が寄与している。一方で、高度技術保有者の割合は25%で56位、55〜64歳の労働参加率は69%で37位等の劣位にあるものが散見される。これまで「人財」において国際的に優位な位置にあった我が国ではあるが、より一層の「人的資本」への投資と、社会へ

専門職大学院 オープンキャンパス 2/6(土) 13:00-17:00 日本工業大学 神田キャンパス

本学初となるプロ野球選手誕生へ 野球部 西田君 独立リーグ球団からドラフト指名

プロ野球独立リーグのベースボール・チャレンジ・リーグ(BCL)のドラフト会議が11月28日(土)に実施され、機械工学科4年で野球部所属の西田勇介君が信濃グラセローズから指名を受けた。1月24日(日)に正式に入団契約を交わし、本学初のプロ野球選手となる見込みである。 グランセローズは長野



野球部ではキャッチャーとしてチームをまとめた

春日部税務署より 租税教育推進校として表彰

本学では春日部税務署と協力し、3年前から菊地信一教授(共通教育系)の講義「建築キャリアデザイン」(生活環境キャリアデザイン)「生活環境キャリアデザイン」(現代社会の諸問題)の講義では、ほかに春日部市役所、春日部年金事務所などからのゲスト講義も用意されている。また秋学期では春日部税務署にはマイナンバー制度についての解説をしていただく予定である。



税務署長より感謝状を贈られる菊地教授

すぎと町民大学 波多野学長が 無料公開講座で講演

平成27年度すぎと町民大学公開講座が11月7日(土)14時から同町生涯学習センター(カルスタすぎと)にて200人が参加し多目的ホールで行われた。講師は本学の波多野純学長(生活環境デザイン学科)。テーマは「ほんもの町づくりを目指して」。本年杉戸宿が開宿400年を迎えるに当たって、未来へ繋いでい



講演を行う波多野学長

くための方策について具体例を示しながら講演が行われた。なお、波多野学長は杉戸宿開宿400年プロジェクト会議の会長も務めている。講演は①私が取り組んできた仕事―正確な復原と地域の特性を読みぬく。②記憶の風景を次世代へ受け継ぐ―地域特性の連続性と観光開発。③歴史的な町並みの何を受け継ぐか―観光と食べ物

で良いのか―物語の連続性。④アジアの高齢化社会とヨーロッパの高齢化社会。⑤一過性の観光開発を越え持続型社会へ―世界遺産石見銀山の魅力。⑥埼玉の街道を見直す。と豊富な内容で出席者からは「わかりやすい

11月14日(土)、大分市ホテル豊の国にて36名が出席し工友会大分県支部の設立総会が開催された。支部長には建築学科の3期生の高橋洋氏、副支部長に同6期の片山朝典氏、同8期の板井建二氏、同33期の上玉利佳哉氏、幹事に事務局担当の同8期加地優二氏他4名が選出され、同時に大分支部規約・今年度の活動計画と予算が承認された。続いて来賓の柳澤理事長・竹内学生支援部長・工友会土井会長の祝辞、全国各支部の応援参加もあり盛會に終わった。設立総会に引き続き懇親会として翌日の国東史跡見学も盛況に催された。



大分支部メンバーと大学関係者

エコプロダクツ2015 学生環境推進委員会の学生が活動内容を紹介

今年12月10日(木)から3日間、東京ビッグサイトで開催された。本学ブースは例年通り学生環境推進委員会が企画・運営を担当。自作の子供向け環境クイズの展示をはじめ、日頃の委員会活動をパネルで紹介した。このほか本学の環境施設などについても展示し、学生スタッフが来場者の質問に熱心に対応していた。



ブース見学者に対応する学生スタッフ

第47回若杉祭開催報告

学生、来場者、スタッフが1つになった3日間

第47回若杉祭が11月1日(日)から3日(火・祝)まで開催された。今年のテーマは、「ONE～1つになる～」それぞれの個が一致団結し若杉祭を作りあげようという思いが込められている。

本年も恒例の仮装パレードから始まった若杉祭は、アニメ「けいおん」等でおなじみの人気声優、佐藤聡美さんのトークショー、更に若杉祭最大のイベントである「秋のからっ風こ

んさあと」も「ねごと」と「BLUE ENCOUNT」という人気上昇中の2グループを招き、盛大に開催された。

また、初日には16回目となるホームカミングデーが行われ、およそ600名のOBが参加。3日目には、恒例となっている高校生対象の建築設計競技表彰式が行われ、入賞者の表彰と作品展示が行われた。大成功の3日間であった。



[上段・下段左] 若杉祭では多彩なイベント、模擬店が催された [下段中] 建築設計競技表彰式 [下段右] ホームカミングデー懇親会

工業技術博物館講演会

転がり軸受、ボールねじをテーマに講演

11月11日(水)の午後、学友会館で工業技術博物館の秋季特別講演会が博物館後援会との共催で開催された。

11月1日(日)から19日(木)まで工業技術博物館の二階展示場で開催された第24回特別展「機械の滑らかな動きを支える軸受技術―進化し続ける軸受とその関連技術の変遷とメカニズム」に合わせて開催されたものである。

特別講演会では、我が国最初の軸受メーカーである国最初の軸受メーカーである日本精工株式会社から、産業機械軸受技術センターの青木満穂氏および直動技術センターの宮口和男氏を招き、転がり



講演を行う青木満穂氏

軸受並びにボールねじに関して講演して頂いた。軸受シェア国内第一位、世界第3位を維持している同社の紹介から、工作機械主軸用軸受とボールねじの送り駆動機構の種類と構造、要求特性と課題、技術開発動向まで、図表や写真を多用して話され、各種産業機械から自動車まで多くの機器の高速・高精度で円滑な動きを陰で支えている、縁の下の力持ちである重要な要素部品の理解を深めることができた。

授業体験型オープンキャンパス(ウィークデー・キャンパス・ビジット)

高校生が大学の「普段の授業」を体験

ウィークデー・キャンパス・ビジット(以下WCV)は、高校生が大学キャンパスで大学生と同じ授業に参加する体験プログラムである。オープンキャンパスで実施する高校生向け模擬授業とは異なり、大学の「普段の授業」に参加するため、各学科の学びの内容、授業の進め方、大学生の受講の様子などを実際に感じ取ることができる。本

学や進路について考えを深めていく。参加者募集は①本学の日程を決めて公募する「公募制」、②高校のイベントとして実施される「高校別」、③埼玉県高等学校進路指導研究会が実施する「夢プラン」の3



振り返りワークで参加者同士で感想を共有

学に興味を持っている。理工系学部への進学を考えている、大学の授業を体験したい、といった高校生が参加している。本プログラムはNPO法人NEWVERDYが運営しており、本学では平成26年に4回、本年度は8回実施している(下表)。実施に際しては本学教員が専門のトレーニングを受け、認定WCVコーディネーターとして大学や進路について考えを深めていく。

参加者募集は①本学の日程を決めて公募する「公募制」、②高校のイベントとして実施される「高校別」、③埼玉県高等学校進路指導研究会が実施する「夢プラン」の3

タイプで行われている。①②は本学でWCVコーディネーターがガイダンスを行い、大学の選び方を共に考え、参加授業を決定し、課題を持って授業に参加する。7月実施の公募制では、本学の特色ある教育「工房教育プログラム」の科目も受講可能とした。授業後には「振り返りワーク」を行い、気付いた点などを参加者間で共有する。なお③の場合、ガイダンスと振り返りワークは各高校で行われる。

一度の授業参加では大学の理解は限られるものの、熱心に授業に取り組む学生の様子、大学の自由な雰囲気、科目が扱われた。

実施日	曜日・休日等	タイプ	参加数
4/29	昭和の日	公募	21
7/11	土曜日	公募(工房)	24
10/12	体育の日	公募	15
10/12	体育の日	夢プラン(埼玉高進研)	1
10/12	体育の日	高校別(茨城県立日立工業高等学校)	18
10/13	火曜日	高校別(鳥根県立三刀屋高等学校)	30
10/28	水曜日(群馬県民の日)	公募	5
11/5	木曜日	高校別(伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校)	34
11/18	水曜日	高校別(埼玉県立越谷南高等学校)	89
12/18	金曜日	高校別(東京都立練馬高等学校)	28

平成28年度の日程や実施内容は、決定次第ホームページに掲載予定。

就職支援情報

女子学生対象の就活セミナー

メイクやマナーの講習、先輩の内定報告会など

秋学期の特別研修日に女子学生を対象に「女子学生就活セミナー」を実施した。

昨年度に引き続き開催となったセミナーでは、まず初めにスーツを着用したマネキンを用いながら、スーツスタイルの着こなしポイントの説明があった。

次に、女子学生の関心が高いメイクの基礎を学び、手鏡を覗き込み一人ひとりに手渡された化粧品を試供品を使いながら就職活動のためのメイクを実践した。



添田氏によるマナー講座

その後、内定を勝ち取った4年生の女子先輩5名による「内定報告会」を、参加した女子学生からは

先輩方に聞くことのできる貴重な機会となった。昼食は、第一食堂にて先輩を囲み懇談しながら好評の「女子大生ランチ」を食べ、和やかな雰囲気にも包まれた。

コーディネーター添田真実氏の進行のもと実施した。活動の流れや内定に

授業との両立の仕方や、企業選択のポイント等について質問が挙がり、直接

先輩方に聞くことのできる貴重な機会となった。昼食は、第一食堂にて先輩を囲み懇談しながら好評の「女子大生ランチ」を食べ、和やかな雰囲気にも包まれた。

午後、再び添田氏により、「マナーの必要性を理解する」「マナーの基本の型を習得する」という二つの目的に沿って、氏の実体験を織り交ぜた講話をいただいた。続けて、マナーの基本

の型を体得するために挨拶やお辞儀を練習し、仲間同士でアドバイスを送り、実施していき

るなど最後まで熱心に取り組む姿が見られた。昨年度に比べ一年生の参加者が多く、二年連続で参加した女子学生もあり、大変参考になったと評価の高いアンケート結果であった。

また、「社会に出る前に学んでおくことがたくさんあると思う。日ごろから意識していく」の意見も出され、職業意識の醸成に繋がる企画となった。

今後、より一層満足度の高いプログラムを検討、実施していき

第10回ビジネスプランコンテスト 受賞者決定

脇本君が学長賞と学生起業家支援事業奨学金を獲得



今回は168件(内グループ88件)、266名の応募があった。11月4日(水)に一次・二次の書類選考通過者による最終プレゼンテーション審査が実施され受賞者が決定(下表)、表彰式が行われた。本年度より、起業家支援財団の学生起業家支援事業奨学金の選考も兼ねており、脇本君が学長賞と併せて受賞した。

第二部として特別講演が開催され、本学学生99名を含む223名が聴講。コマツのマーケティング本部地雷除去プロジェクト室室長・柳樂篤司(なぎら あつし)氏が、地雷除去やカンボジア地雷原地域の復興をテーマに講演を行った。

審査結果	氏名	プラン名
学長賞 ※学生起業家支援事業奨学金にも採択	脇本 智正	家庭用ロボットのカスタマイズ・販売及び作業スペースの時間貸しサービス
NITEC 埼玉産学交流会賞	池田 望	都会でやる本格的モジュール家庭菜園キット
川口信用金庫賞	成田 裕貴 小林 拓人	格安、こだわりカーリースシステム
宮代町長賞	横山 駿也	高齢者の健康状態および在宅状況の把握システム
審査員特別賞	中川 祥希	自動車、バイクの中古部品再生、生産終了部品の復刻生産
産学連携起業教育センター長賞	鈴木 亮也 上野 真一 矢口 友之	タクシー搭載用の多国語案内デバイス
優秀賞	小池 功祥	日本工業大学の学生が宮代町のおじいちゃん、おばあちゃんと一緒に暮らそう
優秀賞	根岸 智哉 大洞 知也 大森 一輝	3Dプリンターと粘土を利用したオリジナルアイテム出力サービス
奨励賞	丸山 将真 佐久間 亮	アイドルと電話で会話ができるサービスと地方アイドルの発信
奨励賞	添田 健太	記憶遊行アプリ
奨励賞	武井 啓訓 田中 敏士 高橋 飛翔	世界に1つのオリジナルTシャツ(外国人向け習字体験+Tシャツ化)
奨励賞	渡辺 典志	飛び出す絵本の専門店
努力賞	山口 崇文	自家用車を使用したシェアライフサポートシステム
努力賞	佐藤 哲也	オートフォーカス付きメガネ(老眼の人を対象とする物品)
努力賞	山谷 悠太 吉岡 峻平	女性用ロードバイク専用ウェア
努力賞	石川 慶一 坪内 一	ワンコインで楽しめるオリジナルティー専門店
努力賞	指田 尚樹 濱川 拓哉	小さな部屋一つから始められる。単身、老後、ビジネスライフ

電子情報通信学会 「優秀ポスター賞」を受賞

電気電子工学科4年(平栗研究室)の設楽勇君が10月30日(金)、電子情報通信学会「優秀ポスター賞」を受賞した。受賞論文名は「双方向無線通信システムにおける再送低減のためのフレーム内符号化率制御に関する方法の一検討」。大学院生や企業の若手研究者の中で、学部4年生の受賞は快挙である。

本研究では、長距離の無線映像伝送において伝搬環境が悪い状態であっても高品質な映像を送ることに成功。従来のように変調方式を伝搬環境に応じて変更することなく、常に安定した映像配信が可能となる。研究成果は多様な伝搬環境に適用でき、受信側端末の性能に最適化された画質で映像視聴が可能となる。将来的にはTV中継などの映像配信に採用されるのが期待されている。



研究の説明ポスターと設楽君

東京デザインウィーク2015 「影絵あそび」で学生賞

10月24日(土)から11月3日(火・祝)にかけて行われた世界有数のデザインイベント「東京デザインウィーク2015」のアジアアワード学校作品展に、「建築学科・生活環境デザイン学科」と「モノ創りデザイン工房 &有志学生」の2チームが出品した。今年度の有志学生は機械工学科を中心情報工学科、創造デザイン学科の学生も参加している。

「モノ創りデザイン工房 &有志学生」の出展3作品のうち、情報工学科の藤原雅仁君、佐藤史崇君、渋谷優貴君が制作した「影絵あそび」が、約120作品中9位以内と



折鶴に囲まれた茶室 金賞受賞 銀座三越で来場者をおもてなし

生活環境デザイン学科・足立研究室の学生7名によるチームが10月4日(日)、日本建築学会主催の建築文化週間・学生グランプリ2015「銀茶会の茶席」において金賞を受賞した。受賞作品名は「折鶴庵」。茶道のおもてなしの心に通う、折鶴の茶室を提案した。和紙を用いた折鶴は空間に様々な表情を見せ、茶室の小間は外につながる広がりをつくり出す。茶室は原寸大で制作され、10月22日(木)から5日間、銀座三越9階の銀座テラスにて、実際に茶席として使用された。

国家技能検定試験5名合格 3名が成績優秀賞

7月19日(日)に実施された中央職業能力開発協会主催の国家技能検定試験(普通旋盤2級)に、本学機械系学生5名が挑戦し、全員が合格した。検定では実技試験と学科試験が課せられる。受験者は「絶対合格」という強い決意で春休みを返上して準備に入り、4月以降は授業時間の合間を縫って課題分析と実技練習、さらには学科模擬試験で本試験に向けた対策を重ねた。この合格は学生に大きな達成感と自信をもたらした。今後の学生生活や就職活動で積極性や計画性、行動力等に大きな力を発揮してくれるものと期待される。

合格者のうち塩島君、黒沼君、吉田さんの3名



影絵あそび：お題の影絵を手で表現、その再現性により点数が決まる

人事異動

【任用】(11月1日付)
◆半沢美里事務職員(入試室)

国外出張

◆金野千恵助教(生活環境デザイン学科) / 出張先 台湾(10/23~10/26) / 目的 台北市における半屋外空間「亭子脚」の空間構成とその実践に関する研究
◆呉 志良教授(留学生別科) / 出張先 中国(10/29~11/8) / 目的 協定機関・業務委託機関における留学生入試及びび学生募集活動等
◆成田健一教授(建築学科) / 出張先 中国(10/29~11/8) / 目的 協定機関・業務委託機関における留学生入試及びび学生募集活動等



合格者(左より)塩島君、齋藤君、黒沼君、吉田さん、谷川君

杉戸警察署による 交通安全講習会

12月1日(火)の昼休みを利用して、体育館横の構内道路において交通安全講習会が行われた。会場に多くの学生や教職員が参集する中、指導のため来学した杉戸警察署の交通安全課担当官の講話が行われた。続いて、本年度全国白バイ安全運転競技会の女子傾斜走行競技部門で優勝した女性隊員の高度な走行パフォーマンスを、スクリーンが披露され、会場を沸かせた。

ライブラリカフェで 憩いのひととき

11月27日(金) LCセンターカフェテリアで、第6回ライブラリカフェ「エジプト調査に参加するには」が開催され、31名が参加した。建築学科の西本真一教授による、エジプトでの発掘調査や日本でのエジプト考古学についてのトーク後、参加者と先生がコーヒーを片手に会話を楽しんだ。



センター試験 本学で実施

大学入試センター試験が1月16日(土)・17日(日)の両日にわたって実施され、本学は今年度の大学入試センター試験の試験会場となっている。前日15日から当日にかけて、工業技術博物館を含め関係者以外キャンパスへの立入りが制限される。なお、本学では大学入試センター試験の得点を

合否判定に利用するセンター利用入試を下面下部の日程で実施する。成績優秀者には、入試奨学金20万円が交付される。募集要項入手希望者は、入試室まで。

◆西本真一教授(建築学科) / 出張先 中国(10/29~11/8) / 目的 協定機関・業務委託機関における留学生入試及びび学生募集活動等
◆成田健一教授(建築学科) / 出張先 中国(10/29~11/8) / 目的 協定機関・業務委託機関における留学生入試及びび学生募集活動等

◆小田基市教授(技術経営研究科) / 出張先 ドイツ(11/18~11/24) / 目的 第9回生物からの発想による情報通信技術国際会議にて論文発表
◆大田健一教授(電気電子工学科) / 出張先 シンガポール(12/5~12/10) / 目的 第12回西太平洋音響学会

◆金野千恵助教(生活環境デザイン学科) / 出張先 イタリア(12/5~12/10) / 目的 ウェネチア国際建築展会場日本館にみられる設計手法とその空間特性に関する研究
◆吉野秀明教授(電気電子工学科) / 出張先 アメリカ(12/6~12/12) / 目的 2015年IEEEグローバル通信に関する国際会議LOBECCOMの運営委員会参加

◆正道寺勉教授(情報工学科) / 出張先 ベトナム(12/7~12/12) / 目的 第16回アジア太平洋経営工学とマネジメントシステムに関する国際会議にて研究論文発表
◆丸山友希夫教授(共通教育系) / 出張先 ベトナム(12/7~12/12) / 目的 同前
◆勝間田 仁准教授(情報工学科) / 出張先 フィリピン(12/15~12/18) / 目的 第7回コンビュータサイエンスとその応用国際会議にて研究発表
◆池添泰弘准教授(創造システム工学科) / 出張先 アメリカ(12/15~12/21) / 目的 環太平洋国際化学会議2015にて研究発表・調査研究

◆佐野健一准教授(創造システム工学科) / 出張先 アメリカ(12/16~12/20) / 目的 同前
◆神林 靖准教授(情報工学科) / 出張先 キリシヤ(12/16~12/20) / 目的 第13回マルチエージェント欧州国際会議にて論文発表
◆樋口佳樹准教授(生活環境デザイン学科) / 出張先 ナパール(12/19~12/28) / 目的 ナパールにおける生活排水処理状況調査

◆古閑伸裕教授(機械工学科) / 出張先 ベトナム(11/7~11/11) / 目的 ベトナムにおける学部入学試験および別科学生入学試験の募集活動
◆川島信也主任(総務部付) / 出張先 ベトナム(11/7~11/11) / 目的 同前
◆波多野 純(学長) / 出張先 台湾(11/13~11/15) / 目的 中国科技大学50周年記念式典出席
◆渡部修一教授(教育研究推進室長) / 出張先 台湾(11/13~11/15) / 目的 同前
◆小田基市教授(技術経営研究科) / 出張先 ドイツ(11/18~11/24) / 目的 ドイツのグローバルニッチトップ企業の発生の成長の検証
◆佐々木勉教授(技術経営研究科) / 出張先 ドイツ(11/18~11/24) / 目的 同前

◆西本真一教授(建築学科) / 出張先 中国(10/29~11/8) / 目的 協定機関・業務委託機関における留学生入試及びび学生募集活動等
◆成田健一教授(建築学科) / 出張先 中国(10/29~11/8) / 目的 協定機関・業務委託機関における留学生入試及びび学生募集活動等

◆小田基市教授(技術経営研究科) / 出張先 ドイツ(11/18~11/24) / 目的 第9回生物からの発想による情報通信技術国際会議にて論文発表
◆大田健一教授(電気電子工学科) / 出張先 シンガポール(12/5~12/10) / 目的 第12回西太平洋音響学会

◆金野千恵助教(生活環境デザイン学科) / 出張先 イタリア(12/5~12/10) / 目的 ウェネチア国際建築展会場日本館にみられる設計手法とその空間特性に関する研究
◆吉野秀明教授(電気電子工学科) / 出張先 アメリカ(12/6~12/12) / 目的 2015年IEEEグローバル通信に関する国際会議LOBECCOMの運営委員会参加

◆正道寺勉教授(情報工学科) / 出張先 ベトナム(12/7~12/12) / 目的 第16回アジア太平洋経営工学とマネジメントシステムに関する国際会議にて研究論文発表
◆丸山友希夫教授(共通教育系) / 出張先 ベトナム(12/7~12/12) / 目的 同前
◆勝間田 仁准教授(情報工学科) / 出張先 フィリピン(12/15~12/18) / 目的 第7回コンビュータサイエンスとその応用国際会議にて研究発表
◆池添泰弘准教授(創造システム工学科) / 出張先 アメリカ(12/15~12/21) / 目的 環太平洋国際化学会議2015にて研究発表・調査研究

◆佐野健一准教授(創造システム工学科) / 出張先 アメリカ(12/16~12/20) / 目的 同前
◆神林 靖准教授(情報工学科) / 出張先 キリシヤ(12/16~12/20) / 目的 第13回マルチエージェント欧州国際会議にて論文発表
◆樋口佳樹准教授(生活環境デザイン学科) / 出張先 ナパール(12/19~12/28) / 目的 ナパールにおける生活排水処理状況調査

◆劉受准教授(共通教育系) / 出張先 台湾(11/24~11/29) / 目的 国際情報学会国際会議参加
◆木村貴幸助教(電気電子工学科) / 出張先 香港(11/30~12/5) / 目的 2015年IEEE非線形理論とその応用に関する国際会議にて研究論文発表
◆神野健哉教授(電気電子工学科) / 出張先 香港(12/1~12/5) / 目的 同前
◆2015年非線形理論とその応用に関する国際会議に参加、研究論文発表にて研究論文発表
◆平栗健史准教授(電気電子工学科) / 出張先 マレーシア(12/1~12/6) / 目的 国際会議 A TMS2015での論文発表
◆神林靖准教授(情報工学科) / 出張先 アメリカ(12/2~12/7) / 目的 第9回生物からの発想による情報通信技術国際会議にて論文発表

◆池添泰弘准教授(創造システム工学科) / 出張先 アメリカ(12/15~12/21) / 目的 環太平洋国際化学会議2015にて研究発表・調査研究
◆佐野健一准教授(創造システム工学科) / 出張先 アメリカ(12/16~12/20) / 目的 同前
◆神林 靖准教授(情報工学科) / 出張先 キリシヤ(12/16~12/20) / 目的 第13回マルチエージェント欧州国際会議にて論文発表
◆樋口佳樹准教授(生活環境デザイン学科) / 出張先 ナパール(12/19~12/28) / 目的 ナパールにおける生活排水処理状況調査

◆丸山友希夫教授(共通教育系) / 出張先 ベトナム(12/7~12/12) / 目的 同前
◆勝間田 仁准教授(情報工学科) / 出張先 フィリピン(12/15~12/18) / 目的 第7回コンビュータサイエンスとその応用国際会議にて研究発表
◆池添泰弘准教授(創造システム工学科) / 出張先 アメリカ(12/15~12/21) / 目的 環太平洋国際化学会議2015にて研究発表・調査研究

◆佐野健一准教授(創造システム工学科) / 出張先 アメリカ(12/16~12/20) / 目的 同前
◆神林 靖准教授(情報工学科) / 出張先 キリシヤ(12/16~12/20) / 目的 第13回マルチエージェント欧州国際会議にて論文発表
◆樋口佳樹准教授(生活環境デザイン学科) / 出張先 ナパール(12/19~12/28) / 目的 ナパールにおける生活排水処理状況調査

◆正道寺勉教授(情報工学科) / 出張先 ベトナム(12/7~12/12) / 目的 第16回アジア太平洋経営工学とマネジメントシステムに関する国際会議にて研究論文発表
◆丸山友希夫教授(共通教育系) / 出張先 ベトナム(12/7~12/12) / 目的 同前
◆勝間田 仁准教授(情報工学科) / 出張先 フィリピン(12/15~12/18) / 目的 第7回コンビュータサイエンスとその応用国際会議にて研究発表
◆池添泰弘准教授(創造システム工学科) / 出張先 アメリカ(12/15~12/21) / 目的 環太平洋国際化学会議2015にて研究発表・調査研究

◆佐野健一准教授(創造システム工学科) / 出張先 アメリカ(12/16~12/20) / 目的 同前
◆神林 靖准教授(情報工学科) / 出張先 キリシヤ(12/16~12/20) / 目的 第13回マルチエージェント欧州国際会議にて論文発表
◆樋口佳樹准教授(生活環境デザイン学科) / 出張先 ナパール(12/19~12/28) / 目的 ナパールにおける生活排水処理状況調査

◆正道寺勉教授(情報工学科) / 出張先 ベトナム(12/7~12/12) / 目的 第16回アジア太平洋経営工学とマネジメントシステムに関する国際会議にて研究論文発表
◆丸山友希夫教授(共通教育系) / 出張先 ベトナム(12/7~12/12) / 目的 同前
◆勝間田 仁准教授(情報工学科) / 出張先 フィリピン(12/15~12/18) / 目的 第7回コンビュータサイエンスとその応用国際会議にて研究発表
◆池添泰弘准教授(創造システム工学科) / 出張先 アメリカ(12/15~12/21) / 目的 環太平洋国際化学会議2015にて研究発表・調査研究

展示室の中にはトンネルが出現。ライトの貸し出しがありますので、中探検をしてみませんか。皆様のお越しをお待ちしています。
【開催期間】1月9日(土)~3月6日(日)
【休館日】月曜日(月曜日が祝日の場合は開館)、祝日の翌日
【問】宮代町郷土資料館 0480・34・8888

◆版画家・棟方志功は著書「板極道」で「力とか、慾とか、そういうものがない世界、本当に他愛ない世界から生まれてくる仕事、願うことではなく、願われる仕事、そんなでない慾をもちたいものです」と記している。棟方は陶芸家・河井寛次郎等の知遇を得、宗教的主題の棟方芸術を確立した。主な作品には「華厳譜」「釈迦十弟子」などがある。▼この文には、自身自身の存在は、何か大きな意志を実現する媒介である、という意識が見え隠れしているようだ。まさに、どこか日本という範疇を超えたコスモポリタンの意識と呼んで良いだろう。▼棟方は青森県出身。岩手県出身の宮澤賢治の「雨ニモ負ケズ」の結句も「ミンナニデクノボートヨバレ/ホメラレモセズ/クニモサレズ/サイイフモノニ/ワタシハナリタイ」だった。同じ東北人としての矜持を感じさせる言ではないだろうか。【信】祝！初春。

◆版画家・棟方志功は著書「板極道」で「力とか、慾とか、そういうものがない世界、本当に他愛ない世界から生まれてくる仕事、願うことではなく、願われる仕事、そんなでない慾をもちたいものです」と記している。棟方は陶芸家・河井寛次郎等の知遇を得、宗教的主題の棟方芸術を確立した。主な作品には「華厳譜」「釈迦十弟子」などがある。▼この文には、自身自身の存在は、何か大きな意志を実現する媒介である、という意識が見え隠れしているようだ。まさに、どこか日本という範疇を超えたコスモポリタンの意識と呼んで良いだろう。▼棟方は青森県出身。岩手県出身の宮澤賢治の「雨ニモ負ケズ」の結句も「ミンナニデクノボートヨバレ/ホメラレモセズ/クニモサレズ/サイイフモノニ/ワタシハナリタイ」だった。同じ東北人としての矜持を感じさせる言ではないだろうか。【信】祝！初春。